

井原市教育委員会 9 月定例会会議録【公開用】

1. 招 集 令和 4 年 9 月 7 日(水)
2. 開 会 令和 4 年 9 月 1 5 日(水) 1 4 時 5 0 分
3. 閉 会 令和 4 年 9 月 1 5 日(水) 1 6 時 1 2 分
4. 会議の場所 井原市役所 4 0 3 会議室
5. 出席又は欠席した委員

出席委員	教 育 長	伊 藤 祐 二 郎
	教育長職務代理	藤 井 秀 彦
	委 員	奥 田 隆 夫
	委 員	佐 藤 和 代
	委 員	西 田 友 美

6. 会議に出席した職員

唐木教育次長 米本学校教育課長 成智生涯学習課長
高田文化スポーツ課長 岡崎教育総務課長補佐

7. 教育長が告示した議題

附議事項

【報 告】

報告第 2 9 号 令和 4 年度全国学力・学習状況調査の結果について

報告第 3 0 号 令和 4 年度岡山県学力・学習状況調査の結果について

【議 案】

議案第 1 9 号 井原市文化財保護審議会委員の委嘱について

議案第 2 0 号 井原市スポーツ推進計画策定委員会委員の委嘱について

8. 傍聴者 なし

9. 議 事

(1) 開 会

・伊藤教育長が開会を宣言

定刻が参りましたので 9 月定例会を開会いたします。

(2) 前回会議録の承認・公開について

【伊藤教育長】前回会議録の承認、公開について事務局から説明をお願いします。

【岡崎教育総務課長補佐】8 月定例会の会議録につきましては、既にご確認をいただいております。なお、議案第 1 8 号につきましては、人事案件のため非公開といたします。

【伊藤教育長】事務局からの説明に、ご異議はございませんか。

— 全会一致で承認 —

【伊藤教育長】ご異議なしということで、処理させていただきます。

(3) 教育長の報告事項

【伊藤教育長】次に報告事項に移ります。私の方で資料を用意させていただいております。

— 資料により説明、「小学生の読解力、デジタルより紙」(R4.8.27 山陽新聞)について、広島大などが調査した内容を紹介。「学校園の臨時休業の基準変更について」、「2学期に開催予定の行事の中止について」を説明—

(4) 議 事

附議事項

【報 告】

□報告第29号 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

【伊藤教育長】まず初めに、「報告第29号 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

【米本学校教育課長】それでは、報告第29号の説明を申し上げます。

— 議案読み上げ —

【伊藤教育長】ただ今報告のあった議題に対するご質問はありませんか。

【奥田委員】考察で、成果として学習1h以上が、全国値を上回ったとあるが、昨年度と比較してどうでしょうか。

【伊藤教育長】岡山県の中学生の家庭学習は全国で比較すると少ないと言われていています。実は、今年度も岡山県自体は全国に比べて低い結果が出ています。しかし、井原市はこのところは、全国よりよいという結果が出ています。中学生の家庭学習は伸びてきていると言えます。県でみると中学生は、小学生と比較して、家で勉強していないが、国でみると、中学生の方がよく勉強しているといった状況です。

【西田委員】中学校は、自主学習はノートを作っているのでしょうか。

【米本学校教育課長】ございますが、各教科からでる課題が多いため、自主学習といっちは小学生ほどの量はありません。

【西田委員】習慣づけることが大切なんだろうと思っかけているのですが、小学校での取り組みが中学校で数字として出ているということでしょうか。

【奥田委員】自己肯定感が、小中ともに、全国値を下回っているとありますが、なんとかしていかなければなりません。今後の対応として、児童生徒が自分で決めたことをやり遂げられるような学習活動を設定し、自己の変容を実感できるよう振り返りを充実させることにより、児童生徒の自己肯定感を高め、主体的に学ぶ力を育成するとありますが、

学習面だけでなく、生活面、学級経営の中での「ほめ」などの働きかけなんかも大きいと思います。総合的に学校生活が楽しいことが一番であろうと思います。

【服部委員】授業も工夫されていると思います。家庭でもカバーできることがあればと常々思います。

【米本学校教育課長】発達段階に応じた課題の出し方が大切ですが、思考する部分と定着させる部分の両輪でバランスを取りながら、取り組んで行く必要があります。

【伊藤教育長】家庭学習は、宿題と自主学習ですとはっきり言っているのと、授業とどうリンクするかが大切となってきます。

【西田委員】今後の対応（１）の「ICTを活用した個別最適化された学び」とは、どういった学びのことでしょうか。

【米本学校教育課長】個々のレベルに応じた課題の出し方が、プリントだったら同一の問題を全員に配り課題として出すようになりますが、デジタルだったら、基礎問題と発展問題を児童生徒が、自分の理解度にあわせて、選択することができるため、個々に応じた課題を出すことができます。

【西田委員】授業というよりは、家庭学習でという感じでしょうか。

【米本学校教育課長】家庭でもありますし、授業でも活用していています。

【西田委員】それに対応したアプリがあるのでしょうか。

【伊藤教育長】タブレットドリルが入っています。

【服部委員】全教科でしょうか。

【伊藤教育長】算数、数学が多いです。

【米本学校教育課長】先ほど、教育長も言われたように、結局、授業と宿題とのつながり、双方をいかにリンクするかが重要になってきます。「予習をしてきなさい。」ではなく、タブレットのここを活用して宿題とすることで、予習になるですとか、タブレットでここをまとめなさいという宿題を出すことで、復習になるですとかいったことです。

【伊藤教育長】それでは、ほかにないようですので、報告第29号は、ご承認いただけますでしょうか。

— 全会一致で承認 —

【伊藤教育長】報告第29号については、承認することといたしました。

□報告第30号 令和4年度岡山県学力・学習状況調査の結果について

【伊藤教育長】次に、「報告第30号 令和4年度岡山県学力・学習状況調査の結果について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

【米本学校教育課長】それでは、報告第30号の説明を申し上げます。

— 議案読み上げ —

【伊藤教育長】ただ今報告のあった議題に対するご質問はありませんか。

【奥田委員】4ページの同一集団の経年変化では、中学2年生が、中1より「学習1h以上」と「夢・目標」の項目で下がっていることが、心配されます。

【米本学校教育課長】考察にありますように、学年が上がるにつれて現実が段々見えてくるので、憧れの夢から現実的な夢へと転換していく過程にあるため、中1から中2では下がる傾向にはあります。学習時間も例年、中1から中3になるにしたがって、下がる傾向にあります。この原因の1つには、高校受験の倍率が影響しているように感じています。近年、この近隣の高校では、定員割れし、勉強していなくても入れるのが現状です。そうすると、卒業生が後輩に「勉強せんでも受かった」などと伝え、伝統のように引き継がれ、悪いルーティンに陥っているように感じています。

【伊藤教育長】意欲に高校受験の倍率は、若干影響するのかなとは思いますが。

【奥田委員】そうですね。高校が到達点、ゴールではないのだから、その後の目標、自分の姿を思い描いて、努力する意欲が湧くように、今取り組んでいる人づくり事業が生かされればいいのですが。学習の意味づけ、そういった観点から働きかけていったら違うのではないかとは思いますが。

【米本学校教育課長】保護者の意識改革も大切だと思います。懇談等で、一番に聞かれるのは、「うちの子は、〇〇高校に行けますか」と言われることが多く、「高校は通過点であって、そこをゴールにはしてはいけません。」とお伝えするのですが、そうすると生徒も目先のことに行ってしまう。保護者も生徒も視点を変えて、何のために勉強するのかといった意識を持ち、普段からどう学習に取り組んでいけるかが課題かなと思います。

【藤井職務代理】ひとづくりネットワークですね。

【奥田委員】まさにそれですね。将来的に地元のレベルを上げて行くっていうか。集団の力は恐ろしいですからね。勉強しようかと思っても、まあいいかという雰囲気や学級の中で流れたら、しなくなってしまう。

【米本学校教育課長】中間層をどっちに転ばすかが、焦点となってくると思います。

【西田委員】今後の対応で、いずれにしてもタブレットの活用が、今後の鍵になってくるかなと思いますが、あまり子どもたちが有効活用している感じがしないので、もっと力を入れていただけたらと思います。

【米本学校教育課長】タブレットの活用についてですが、現在は、具体的には、週の半分は学習を目的とした家庭でのタブレットの活用をしようと学校へも働きかけていっています。

【伊藤教育長】週3回は、宿題と自主学習で使っていこう、これをまず目標にやっていこうと言っています。

【藤井職務代理】以前に比べて、学習1h以上というのが、全国・岡山県を上回っています。これは、学校の先生方の努力と家庭との連携が取れているのかなと感じます。それと、デジタル関係・タブレットの活用が進めばもっともっと未来は開けるのではないかと思います。

います。期待しましょう。

【伊藤教育長】 それでは、ほかにはないようですので、報告第30号は、ご承認いただけますでしょうか。

— 全会一致で承認 —

【伊藤教育長】 報告第30号については、承認することといたしました。

□議案第19号 井原市文化財保護審議会委員の委嘱について

— 教育委員会会議規則第15条第1号の規定により非公開 —

— 全会一致で承認 —

□議案第20号 井原市スポーツ推進計画策定委員の委嘱について

— 教育委員会会議規則第15条第1号の規定により非公開 —

— 全会一致で承認 —

(5) その他

【伊藤教育長】 その他として、委員のみなさんから何かございますか。

【西田委員】 福山市の小学校教諭による児童への不適切発言について、報道されていますが、井原市では、そういったハラスメント的な事案がありますか。

【米本学校教育課長】 今年度は、今のところそういった事案はございません。

【西田委員】 ハラスメント的な事案は、表に出にくいと思います。学校等では、そういった事案の状況を把握するよう努力されているのでしょうか。

【米本学校教育課長】 教育相談前にアンケートをしたり、教育センターなどの相談できる窓口を周知したりしています。悩みを相談できる窓口の案内を広げるようにしています。

【伊藤教育長】 6月議会でもありましたが、令和4年3月に「体罰や暴力行為等の学校内の指導上のトラブルを未然に防ぐためのガイドライン」を作成し、各校に周知しております。生徒への注意ひとつでも注意していかなければなりません。また、それ以前の保護者との関係もどうなのかといったこともございます。

【奥田委員】 新聞にデジタル教科書の導入率のようなのがでていましたが、市内の学校でも扱っているのですか。

【米本学校教育課長】 教師用は使用しています。

【伊藤教育長】 中学校は、英語・数学・国語・社会・理科の5教科で、小学校も、英語・算数・国語・社会・理科の5教科です。英語は、このたび選定されている出版社がサービスで、デジタルも付属してくれていました。子どもも使うデジタル教科書は、試行で国が昨年度導入しましたが、今後、国がクラウドでしてくれるといいなと考えています。

【奥田委員】コミュニティスクールは、来年度から設置するところも出ているのでしょうか。

【米本学校教育課長】現段階では、4小学校と1中学校において設置の方向で動いてくださっています。

【伊藤教育長】現段階では、調整中で、学校名を出していませんが、コミュニティスクールは、地域の協力なくしてはできないものなので、今後、地域にも説明等も必要となつてまいりますから、ある程度のところで、お伝えしていかなければならないと考えています。

【伊藤教育長】他に無いようですので、事務局から何かありますか。

【岡崎教育総務課長補佐】本日の附議事項のうち、議案第19号、議案第20号につきましては人事案件であるため、非公開で会議録を作成させていただきます。なお、公開の可否については次回定例会で承認をいただきたいと思いますと考えておりますので、よろしく願いいたします。

— 各担当課長から教育委員会令和4年10月行事予定表により行事予定を説明 —

— 10月定例会を10月24日木曜日午後3時から、403会議室で開催に決定 —

(6) 閉 会

【伊藤教育長】以上を持ちまして、9月定例会を閉会いたします。委員のみなさま、本日はありがとうございました。